

[目次](#) [前回](#) [次回](#) [今回の解答](#)

集合 位相 + 演習

樋口さぶろお¹ 配布: 2007-11-27 Tue 更新: Time-stamp: "2007-11-30 Fri 10:05 JST hig"

10 ユークリッド空間と内点・内部・開集合

今日の目標

1. ユークリッド距離と三角不等式を使えるようになる
2. ある集合の点の内点であるかどうか判定できるようになる
3. ある集合の内部(それって集合)が求められるようになる
4. ある集合が開集合であるかどうか判定できるようになる

10.1 ユークリッド空間

説明

鈴木 3.1(p.71) \mathbb{R}^n の点を $x_1 = (x_1^{(1)}, x_1^{(2)}, \dots, x_1^{(n)})$, $x_2 = (x_2^{(1)}, x_2^{(2)}, \dots, x_2^{(n)})$ のように書く.

x_1 と x_2 の間の **ユークリッド距離** $d(x_1, x_2) = \left[(x_1^{(1)} - x_2^{(1)})^2 + \dots + (x_1^{(n)} - x_2^{(n)})^2 \right]^{1/2}$.

\mathbb{R}^n と d の組を **n 次元ユークリッド空間** という \neq 地球の表面上の道のり (リーマン空間), ロバチェフスキー空間 (これらは非ユークリッド幾何に分類される)

ユークリッド距離の性質

(きよ1) $\forall x_1, x_2 \in \mathbb{R}^n \quad d(x_1, x_2) \geq 0$. 等号 $\Leftrightarrow x_1 = x_2$.

(きよ2) $\forall x_1, x_2 \in \mathbb{R}^n \quad (d(x_1, x_2) = d(x_2, x_1))$

(きよ3) $\forall x_1, x_2, x_3 \in \mathbb{R}^n \quad d(x_1, x_3) \leq d(x_1, x_2) + d(x_2, x_3)$

三角不等式

(きよ3') $\forall x_1, x_2, x_3 \in \mathbb{R}^n \quad |d(x_1, x_2) - d(x_1, x_3)| \leq d(x_2, x_3)$

三角不等式

10.2 内点

説明

鈴木 p.83 ユークリッド空間の点 $a \in \mathbb{R}^n, \epsilon \in \mathbb{R}, \epsilon > 0$ に対して,

$N(a; \epsilon) = \{x \in \mathbb{R}^n \mid d(x, a) < \epsilon\}$

を a を中心とする半径 ϵ の **開球** という.

¹Copyright ©2007,2008 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.

鈴木 p.88 ユークリッド空間の部分集合 $A \subset \mathbb{R}^n$ に対して,
 $x \in A$ が A の内点である $\equiv \exists \epsilon > 0 \ (N(x; \epsilon) \subset A)$.

10.2.1

ユークリッド空間 \mathbb{R}^1 を考える. $A = [-1, 1) \subset \mathbb{R}^1$ について, 次のうち A の内点はどれか. またそれを示すには ϵ をどう選べばよいか.

- (1) -1 (2) $+1$ (3) 0.5 (4) $-1 < x < 1$ を満たす $x \in \mathbb{R}$

10.2.2

ユークリッド空間 \mathbb{R}^2 を考える. 原点を O とする. $A = \{x \in \mathbb{R}^2 \mid d(x, O) < 2\} \subset \mathbb{R}^2$ について, 次のうち A の内点はどれか. またそれを示すには ϵ をどう選べばよいか.

1. $(0, -2)$ 2. $(\sqrt{2}, -\sqrt{2})$
3. O 4. $(1, \frac{1}{2})$
5. $d(x, O) < 2$ を満たす点 x

10.3 内部

鈴木 p.88 ユークリッド空間の部分集合 $A \subset \mathbb{R}^n$ に対して,

$$\begin{aligned} A^i &= \{x \in A \mid x \text{ は } A \text{ の内点}\} \\ &= \{x \in A \mid \exists \epsilon > 0 \ (N(x; \epsilon) \subset A)\} \end{aligned}$$

を A の内部 (interior) という.

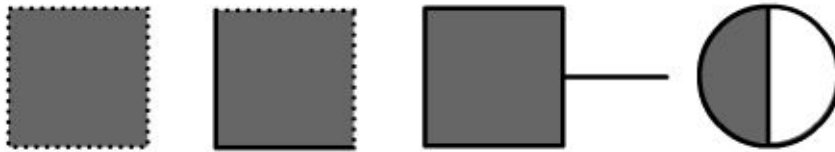
10.3.1

ユークリッド空間 \mathbb{R}^1 で次の集合 A に対して A^i を求めよう.

- (1) $A = [0, 1)$ (2) $A = (0, \infty)$ (3) $A = \{0\}$. (4) $A = [0, 1] \cup (2, 3)$.
 (5) $A = \{x^2 \mid |x| < \frac{1}{2}\}$.

10.3.2

次の \mathbb{R}^2 の部分集合 A それぞれの内部 A^i を描こう.



10.3.3

ユークリッド空間 \mathbb{R}^2 で次の集合 A に対して A^i を求めよう. なお, $x = (x^{(1)}, x^{(2)}) \in \mathbb{R}^2$, 原点を $O \in \mathbb{R}^2$ のように書く.

1. $A = \{x \in \mathbb{R}^2 \mid d(x, O) \leq 1\}$.
2. $A = \{x \in \mathbb{R}^2 \mid 0 < x^{(1)} < 1 \wedge 0 \leq x^{(2)} \leq 1\}$.
3. $A = \{x \in \mathbb{R}^2 \mid 0 < x^{(1)} < 1 \wedge x^{(2)} = 1\}$
4. $A = \{x \in \mathbb{R}^2 \mid d(x, O) > 1\}$.

10.4 開集合

説明

鈴木 p.83 ユークリッド空間の部分集合 $A \in \mathbb{R}^n$ に対して,

$$\begin{aligned}
 A \text{ が開集合} &\equiv A^i = A \\
 &\equiv \forall x \in A \quad (x \text{ は } A \text{ の内点}) \\
 &\equiv \forall x \in A \exists \epsilon > 0 \quad (N(x; \epsilon) \subset A)
 \end{aligned}$$

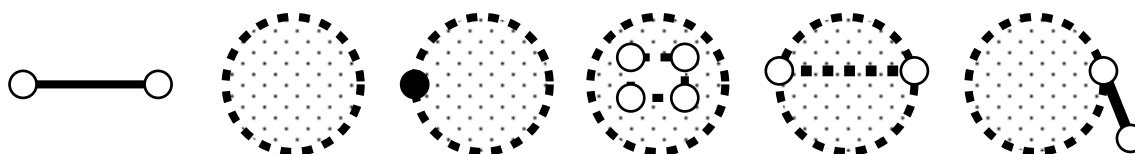
10.4.1

ユークリッド空間 \mathbb{R}^1 で次の集合は開集合か?

1. $(-\infty, +2)$
2. $[1, 2]$
3. $[1, 2)$
4. $(1, 2)$
5. $\mathbb{R} \setminus \{0\}$
6. $(1, 2) \cup (3, 4)$
7. $\{0\}$
8. $\{0\} \cup (1, 2)$
9. $\{\cos x \mid 0 < x < 4\}$.
10. \mathbb{Z}
11. \mathbb{Q}

10.4.2

ユークリッド空間 \mathbb{R}^2 で次の集合は開集合か?



10.5 開集合の性質

説明

鈴木 定理 3.2(p.85)

- (かし 1) \mathbb{R}^n, \emptyset は開集合.
- (かし 2) $U_1, U_2, \dots, U_m \subset \mathbb{R}^n$ が開集合 $\Rightarrow U_1 \cap U_2 \cap \dots \cap U_m$ は開集合.
- (かし 3) $U_1, U_2, \dots, U_m \subset \mathbb{R}^n$ が開集合 $\Rightarrow U_1 \cup U_2 \cup \dots \cup U_m$ は開集合.
- (かし 3') 部分集合のファミリー $U_\lambda \subset \mathbb{R}^n (\lambda \in \Lambda)$ がすべて開集合 $\Rightarrow \bigcup_{\lambda \in \Lambda} U_\lambda$ は開集合.

(かし 3') は, (かし 3) で $k \rightarrow \infty$ としてもいい, と言っている.
 一方, (かし 2) で $m \rightarrow \infty$ とした (かし 2') は成立しない (反例?)

10.5.1

ユークリッド空間 \mathbb{R}^1 で次の集合 A は開集合か? また集合 A を具体的に求めよう.

1. $A = \bigcup_{n=1}^{\infty} (-1 + \frac{1}{n}, +1 - \frac{1}{n})$.
2. $A = \bigcap_{n=1}^{\infty} (-1 - \frac{1}{n}, +1 + \frac{1}{n})$.